

# 活 夏まつり復

## コロナで中止 その間 小学校休校に

### 気取り戻そう



4年からの夏まつりに合わせて準備する渡部館長(左端)や田村さん(右から3人目)ら吉野川市鴨島町上浦の公民館

吉野川市鴨島町上浦の上浦公民館で30日、同館主催の夏まつりが4年ぶりに開かれる。新型コロナウイルス禍で中止が続いていた間に、近々の上浦小学校が児童数の減少で休校になるなど、地区の衰退は進行。一時は今夏のまつりも開催見送りが検討されたが、活性化を願う地元住民の後押しで実施が決まった。関係者は「再びにきわを取り戻そうと意気込んでいます。夏まつりは、上浦公民館が開館した翌年の2007年にスタート。多くの家族連れらでにぎわう地区のメイン行事として定着した。しかし、新型コロナウイルスの影響で20年以降は中止。この間、まつり開催などで公民館と連携していた上浦小が今年3月末で休校した。公民館関係者の間では「学校がなくなった今、まつりを開いても人が集まらなうか」との不安から、再開に消極的な意見もあった。

## 吉野川市上浦公民館主催、30日 地元住民の後押し決め手

暗く沈みがちな話題が多い中、今年もまつりを中止すれば地域の衰退が加速すると危惧した地元の会社役員田村和代さん(62)が、「お手伝いするのでやりましょう」と公民館の渡部隆史館長(67)に提案した。住民同士結びつきを維持して地域活性化を図ろうと、6月に開催を決めた。

田村さんは、公民館を拠点に住民の居場所づくりなどに取り組むボランティアグループ「ほつとスペースんがわ」を設立。夏まつりが初めての活動となる。有志10人と共に揚げたこ焼きを販売する予定で「人と人のつながりや交流が深まるきっかけにしたい」。渡部館長も「地元の方の協力はありがたい。久しぶりに上浦が元気になるまつりにしたい」と意欲を見せる。

夏まつりは午前10時半〜午後2時半。あめのつかみ取りやくじ引きなど10種類のイベントに参加できるチケット(500円)の事前販売は既に終わっているが、当日も若干販売する。

問い合わせは上浦公民館、電話0899(0)2011。Eメール、0899(0)2011。

(石津 遼)